

第 66 回町村議会議長全国大会
寺田稔 総務大臣祝辞

「第66回町村議会議長 全国大会」の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

町村議会議長の皆様方におかれましては、日頃から地方自治発展のためにご尽力いただいていることに、深く敬意を表します。

本日は、ご挨拶の機会をいただきました。せっかくの機会でもございますので、ご挨拶とともに、総務省の取組につきましても、ご紹介させていただければと思います。

まず、先月 28 日に取りまとめられた「物価高克服・経済再生実現のための総合経済政策」については、昨日、補正予算案を閣議決定しました。総務省としては、マイナンバーカードの普及促進に係る対応策強化及び利便性の向上や、消防防災力強化に必要な車両・資機材整備や消防防災分野のデジタル化の推進、5Gなどのインフラ整備や地域課題を解決するためのデジタル実装の支援に関する施策を盛り込んでいます。

各町村におかれましては、補正予算成立後、これらの施策をご活用いただき、積極的な取組をお願いできればと思います。

新型コロナ対策については、今後、季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されることなどから、オミクロン株対応ワクチンの、年内の接種の加速化に政府を挙げて取り組んでおります。

接種間隔の短縮を受け、今月以降、4回目を接種した高齢者の接種の本格化も見込まれますので、更なる接種体制の充実や、住民の皆様に対する接種促進の周知の取組についてご理解ご協力をお願いいたします。

マイナンバーカードについては、マイナポイント第2弾のカード申請期限を延長するとともに、企業等への出張申請受付の推進や、自治体マイナポイント事業を10月31日から展開するなど、引き続き、政府目標を踏まえ、地方公共団体の皆様とも緊密に連携しながら一層の普及に取り組めます。

町村長の皆さまにも申請促進に積極的に取り組んでいただくようお願いしておりますので、町村議会議長の皆様方におかれましても、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和5年度の地方財政については、地方公共団体が、デジタル変革への対応など様々な行政課題に対応しつつ、行政サービスを安定的に提供できるよう、「骨太の方針 2022」などを踏まえ、必要な一般財源総額をしっかりと確保してまいります。

地方税制についても、地方税源を安定的に確保することを第一に、これから税制改正の議論が本格化してまいります。地方公共団体の皆様と力を合わせて取り組んでまいります。

消防については、緊急消防援助隊や常備消防の充実強化、地方公共団体の災害対応能力の強化、消防団を中核とした地域防災力の向上を図るとともに、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施等、国民保護体制の整備に万全を期してまいります。

地方におけるデジタル基盤については5Gネットワークの都市・地方での一体的整備などに取り組むとともに、ローカル5Gの導入支援などを通じて、地域課題を解決するためのデジタル実装を進めてまいります。

また、活力ある地域づくりのため、地域おこし協力隊やローカル10000プロジェクトなどの施策を通じ、地方公共団体の取組を支援してまいります。

第33次地方制度調査会では、地方議会の位置付けや議員の職務の明確化、多様な層の住民の議会への参画につながる環境整備など、地方議会のあり方について調査審議が進められており、議論の状況を踏まえ、総務省として適切に対応してまいります。

総務省としては、引き続き、町村議会 議長の皆様方と十分な意思疎通を図りながら、政策を推進し、地域の発展に取り組んでまいります。

結びに、全国町村議会議長会の益々のご発展と、ご臨席の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

令和4年11月9日

総務大臣 寺田 稔